

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール溝ノロ教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。 一定の時間に人数が固まらないように人数を調整しております。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守しています。 時間帯や児童数により、個別で対応もしています。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		お手洗いは引き戸となっていて、教室内に段差はありませんが、玄関に段差があります。	大変ご不便をおかけしております。職員が玄関で送迎をし、足元を注意するよう声掛けをしていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業所の職員間で目標の設定と確認、その他振り返りなど適宜ミーティングを実施しています。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様に事業所アンケートへのご協力いただき、業務改善に取り組んでいます。	アンケート実施の際は多くのご意見をいただけるよう、おたよりでお知らせしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール溝ノロ教室のホームページにて公開しております。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、実施しておりません。	現在は事業所・保護者様の二者評価です。今後、必要に応じて第三者評価を検討してまいります。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的にオンラインでの外部研修や社内発達障害の理解を深めるための研修に参加しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動報告やご家庭とのご連絡等を踏まえ、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所の職員で話し合いながら行っています。	今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			お子様の特性や課題に応じて内容を日々検討しています。また、玩具は定期的に入れ替えをし、さまざまなルール遊びに挑戦する機会を設けています。	今後も継続していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに、お子様の意向を踏まえ活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス提供開始前に、当日の動き、注意事項を職員間で確認・共有しています。	今後も継続していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			サービス提供終了後にその日行われた支援を振り返り、次の日以降に日誌や口頭で情報の共有を行っています。	今後も継続していきます。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回活動記録を記入しています。その内容を元に、次回以降の支援の方法を検討しています。また記録の内容は職員間で確認し合い、正しい記録となるようにしています。	今後も継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1回を目安に実施し、その際に個別支援計画の作成を行っています。お子様の状況、ご家庭の要望に応じて適宜面談も実施しています。	今後も継続していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	よりよい支援に繋がるよう、必要に応じて担当指導員も参画するようにします。
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者様、お子様を通して情報共有を行っています。また、当事業所では送迎を実施しておりません。	必要に応じて、学校との直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉖	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療職職員を配置していないため、ご利用については事前に主治医、保護者様とご相談させていただいています。	今後も継続していきます。
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者様を通して支援計画等の情報を提供させていただいています。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当のお子様がいりません。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	支援センター主催のオンライン研修会に参加し、日々の支援に反映させています。	今後も継続していきます。
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、実施しておりません。	ご利用時間の関係で、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。可能性については随時検討していきます。
	㉛	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	昨年中は開催がありませんでした。	今後、参加していきます。
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動終了後に活動記録で報告させていただいております。また、適宜LINEや電話でご相談や情報共有を行っております。	今後も継続していきます。
	㉝	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	現在、実施しておりません。	面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。ペアレントトレーニングについては今後検討していきたいと思っています。
	㉞	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約の際にご説明しています。また教室にも掲示をしています。	今後も継続していきます。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談・モニタリングの際、またお困り事が生じた際にお話をさせていただいております。	今後面談以外にも、いつでもご相談いただけるような雰囲気や体制を整えています。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、実施しておりません。	現在は実施に至っておりません。保護者様の要望等を踏まえ、今後検討していきたいと思います。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約の際にご説明しています。また、対応窓口について、教室内にも掲示をしています。	今後も継続していきます。苦情をいただいた際は、社内フローに従って迅速かつ適切に対応をします。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			オレンジスクール溝ノロ教室のブログの更新、毎月お便りにて活動の様子を報告しています。	今後も継続していきます。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管をしています。また、教室内のパソコンには全てパスワードを設定しています。	今後も徹底していきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の特性に合わせた情報伝達手段を使用するよう、職員一同心がけています。	今後も継続していきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、実施しておりません。	保護者様、お子様のニーズに合わせて検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内でそれぞれのマニュアルを策定し職員間で共有しています。また、事業所内に掲示だけでなく、契約時、お便りにて共有しています。	今後も継続していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			学校の長期休暇を利用し、春と夏に避難訓練を実施しています。全員のお子様に参加していただけるよう日程を組んでいます。	今後も継続していきます。
	④⑩	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内でマニュアルを作成し、研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約の際に身体拘束に関する事項の説明を行い、書類にご署名をいただいております。	やむを得ず身体拘束を行った場合は対応フローに沿って対応します。身体拘束が発生しないよう支援方法を工夫してまいります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事、おやつ提供は実施していません。	今後も実施の予定はありません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日ヒヤリハットを記入し、職員間で共有しています。また、ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成し、同様の事象が発生しないよう迅速に対応しております。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール 溝ノロ教室
保護者数（児童数）：46（43） 回収数：31 割合：72%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	3	0	・勉強してゲームなどして遊ぶのでスペースは確保されていると思う。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	0	0	・適切だと思う。	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	10	0	・建物の構造上の問題だが、玄関が狭くバリアフリーとは言いがたい。	・ご家庭の送迎をビルの入口で行う等、状況に応じて対応をご相談させていただければと思います。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	0	0	・こちらの細かい要望や課題にも答えてくれてサービス計画を作成してくれている。	
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	25	4	1	・固定化することなくいろいろなプログラムを考えて頂いている。 ・発達障害に特化したゲームがいくつかあるようなので可能であれば導入してほしい。 ・身体を使うのが苦手なため身体を使い、大きな動きをするゲームも導入していただけたら嬉しい。	・新しい内容など、HP等で紹介しております。ぜひご覧いただければと思います。活動につきましては、様々な選択肢をご提供できるよう検討を行ってまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要7	9	不必要15	・時間的にも特に必要ないと思う。 ・コロナ禍の現在では様々な交流に不安な部分が多い。 ・あれば参加したいと思うが、コロナの現状を踏まえると難しい。	・交流の機会につきましては、事業所の体制、保護者様、お子様のご意見を十分に考慮した上で検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	・わかりやすく説明をして頂いている。	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1	0	・子どもの様子を聞いてくれたり伝えたりと共通理解ができていると思う。	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	3	0	・定期的に面談があり、色々な助言をして頂いている。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要4	14	不必要11	・時間的にも必要ないと思う。 ・コロナ禍の現在では様々な交流に不安な部分が多い。 ・あれば参加したいと思うが、コロナの現状をふまえると難しい。 ・あったら良い	・現時点で開催の予定はございませんが、事業所としてどのようにアプローチできるか検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	7	1	・今までそのようなシチュエーションがない。	・お子様、保護者様から苦情があった際は対応フローに沿って真摯に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	0	0	・意思の疎通もできていて、情報もきちんと伝えてもらっている。	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	2	1	・毎月おたよりを頂き、連絡も報告も毎回いただいているので安心している。 ・発信されている。	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	0	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	1	0	・説明して頂いている。 ・ビル火災の事件があったので、同じような建物であることが気になり、火災時（教室の出入口のすぐ外でもあった場合など）の逃げ道があるのかなと少々不安。	・引き続き、すべての利用児童が避難訓練に参加できるよう、日時を調整していきます。また、避難方法につきましては、避難訓練時等でお知らせしていきます。 ・万が一の場合、ベランダからも非難ができるよう避難器具を設置しています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	0	0	・定期的な訓練がある。	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	1	0	・楽しく通えている。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	1	0	・満足している。	

〇この「保護者等向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様により「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・教室内で一部バリアフリー化できていない部分がある。

B 業務改善

- ・日誌や会議に参画してもらうことで、職員間の業務内容や役割を共有することが出来ている。
- ・情報の発信の強化・開かれた教室運営を目的として毎月おたよりの作成、配布に加え、ホームページを作成している。

C 適切な支援の提供

- ・ご家庭からのご意見やお子様からの様子など多方面からの情報を踏まえた支援を心がけている。

D 関係機関との連携

- ・保護者のニーズに応じて、学校見学等、連携を行っている。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・面談時や契約時に支援内容や運営規程を説明している。
- ・活動報告に加え、送迎時に活動の報告、連絡事項の共有を行っている。

F 非常対応

- ・契約時に身体拘束に関する内容を説明し、同意書に署名捺印をいただいている。
- ・避難訓練は、春と夏に実施し、マニュアルについては入会時に説明、配布している。

保護者による評価

A 環境面

- ・スペースは確保されていると思う。
- ・職員配置数なども適切と評価される保護者が多い。
- ・玄関が狭い。

B 児童への支援内容

- ・発達障害に特化したゲームがいくつかあるようなので可能であれば導入してほしい。
- ・身体を使うのが苦手なため身体を使い、大きな動きをするゲームも導入していただけたら嬉しい。
- ・交流の機会があれば参加したいと思うが、コロナの現状をふまえると難しい。

C 事業所からの情報発信

- ・毎月おたよりを頂き、連絡も報告も毎回いただいているので安心している。
- ・苦情の体制については、「そのようなシチュエーションがない」、「どちらともいえない」との答えが多かった。

D 非常対応

- ・ビル火災の事件があったので、同じような建物であることが気になり、火災時（教室の出入口のすぐ外でもしあった場合など）の逃げ道があるのかなと少々不安。
- ・緊急時マニュアルなどの周知・説明については、「はい」との答えが多かった。

E 満足度

- ・楽しく通えている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・オンラインシステムにて日々の活動を記録しており、保護者と情報を共有することができている。また、活動記録だけでなく、ご家族と面談時や送迎、メール、LINEなどで共有することができている。
- ・非常災害時のマニュアルが周知されている。

【相違点】

- ・発達障害に特化したゲームを導入してほしいという意見があった。
- ・保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているかに対して「どちらともいえない」の意見があった。
- ・おたよりやホームページを作成しているが、「どちらともいえない」、「いいえ」の意見があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・駅から近く、電車やバスを使って区外からもご利用いただいている。オレンジスクールへの通所を機会に公共交通機関の乗る練習をする方もいる。
- ・活動報告の他に LINE や送迎時にも保護者とコミュニケーションを取ることで、子どもたちの支援につなげることができる。

事業所の改善点

- ・どのような玩具があるのか、療育内容をお知らせする場をつくっていく。
- ・保護者とのコミュニケーションを通して、悩みを相談しやすい環境を作る。
- ・おたよりやホームページを見ていただくことができるようにしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・様々な遊びを提案、提供、また工作などを取り入れていき、新しい取り組みは、おたより等で発信していく。
- ・ご家庭が気軽に相談しやすい雰囲気を作るとともに職員から積極的にコミュニケーションを取っていく。
- ・おたより、ホームページ等について見ていただくことができるように LINE ツールを活用し、再度周知をしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度もアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。2回目の自己評価となりましたが、たくさんの方が楽しく教室に通ってきてくれていることがわかり大変嬉しく思っております。

今回いただいたアンケート結果を真摯に受け止め、お子様、保護者様が今度も安心して通うことができるよう、よりオープンな教室運営ができるよう努めて参りたいと思います。

事業所名 オレンジスクール 溝ノロ教室
担当者 杉本 真紀